

社会貢献活動・地域連携活動等

(平成30年5月1日現在)



■ 1、海外の協定相手校

	校数
協定相手校	2

■ 2、社会貢献活動

	活動数
社会貢献活動	47

■ 3、大学間連携

	連携数
大学間連携	3

■ 4、産官学連携

	連携数
産官学連携	22

1. 海外の協定相手校

国名	大学名	概要
Canada	MacEwan University	現在3大学と大学間連携協定を締結しており、学生交流をはじめ今後教員連携、共同研究を実施予定です。また、本学学生は短期海外研修にて各大学で語学研修および医療施設見学実習等を実施しています。
Australia	Curtin University	

2. 社会貢献活動

森ノ宮医療大学 市民公開講座「予防・治療から社会復帰へのケア～最近の進歩～」				参加数
6月18日	第16回	心不全	急性期心臓内科医師、本学教員(看護、理学療法、臨床検査)	115
9月17日	第17回	子宮がん・卵巣がん	急性期産婦人科医師、本学教員(看護、理学療法、臨床検査)	30
10月29日	第18回	高齢者の耳鼻科疾患	急性期耳鼻咽喉科医師、本学教員(看護、鍼灸、作業療法)	44

森ノ宮医療大学が連携協定を結ぶ医療機関の協力を得て年に3回開催する公開講座です。毎回身近な疾患を共通テーマに、基調講演では医師が診断や治療についてわかりやすく講演し、学内の3人の研究者がそれぞれの専門分野を活かしてケアやリハビリなどについて講演します。

森ノ宮医療大学 地域子育て支援事業「もりもりひろば」				家族数	参加数
4月22日	第57回	がんばりすぎない子育て		12	27
5月27日	第58回	笑いヨガでストレス解消		5	11
6月24日	第59回	子どもの周りには危険がいっぱい		5	11
7月22日	第60回	赤ちゃんとのスキンシップ♡		10	23
9月9日	第61回	食事のバランスについて考えてみませんか？		2	5
10月14日	第62回	家族でできるファミリーケア		9	20
11月11日	第63回	お母さんのヨーガ		9	21
12月2日	第64回	感染症の予防は手洗いから		9	23
2月10日	第65回	赤ちゃんの発達とかかわり方		8	20
3月24日	第66回	乳がんは自分で見つけましょう		7	16
合 計				76	177

森ノ宮医療大学看護学科教員が支援する子育て家族支援プロジェクトです。子育て中の家族の交流や、育児に生かせる知識の提供、絵本や親子遊び・集団遊びを通じて地域や親子の絆を深めることを目的に、「育児」や「育自」の知恵、知識そして地域力をパワーアップしていただくための参加型教室です。希望者には身長・体重計測を行っています。

森ノ宮医療大学 介護予防教室「ほほえみくらぶ」(回数は年度内の数字)				参加数
4月15日	第1回	スリーA認知症予防ゲーム		17
5月20日	第2回	スリーA認知症予防ゲーム		21
6月17日	第3回	スリーA認知症予防ゲーム/熱中症予防		24
7月15日	第4回	スリーA認知症予防ゲーム/足からのバランス改善		22
8月19日	第5回	スリーA認知症予防ゲーム		22
9月16日	第6回	スリーA認知症予防ゲーム/ツボ刺激で認知症予防—お灸でセルフケア編—		25
10月21日	第7回	スリーA認知症予防ゲーム/ニューロダンス		22
11月18日	第8回	スリーA認知症予防ゲーム		19
12月16日	第9回	スリーA認知症予防ゲーム/棒体操で心も体も柔らかく		20
1月20日	第10回	スリーA認知症予防ゲーム		23
2月17日	第11回	スリーA認知症予防ゲーム/脳トレーニング		21
3月17日	第12回	スリーA認知症予防ゲーム/咀嚼と健康		25
合 計				261

森ノ宮医療大学看護学科教員が「もりもりひろば」の高齢者バージョンとして始めた認知症予防を目的とした教室です。内容は「講習」「体験:脳活性化ゲーム・笑いヨガ・ダンス」「実習:介護福祉機器の使い方・介護食」等を実施しています。

森ノ宮カップ		概 要
2月17日 18日	森ノ宮カップ U-12(卒業式大会) 少年サッカー大会	主催: 森ノ宮医療大学、開催場所: 舞洲スポーツアイランド 本学の広報活動と企業提携の一環として少年サッカー大会を企画運営し、兵庫県、奈良県、大阪府、滋賀県、和歌山県からエントリーした24チームが参加しました。本学鍼灸学科で構成する「メディカルスポーツトレーナー研究会(MST)」(以後MSTと記載)が選手のサポートや保護者向けの「お灸」体験を実施し、高い評価を得ています。
3月31日	森ノ宮カップ U-12(卒業式大会)表彰式 in 長居ヤンマースタジアム	2月17日(土)-18日(日)に実施した森ノ宮カップU-12(卒業式大会)少年サッカー大会の優勝チームの表彰式を、セレッソ大阪のホーム戦でのオープニングセレモニーの一環として行いました。
その他のイベント等		概 要
5月7日	2017 森ノ宮フェスティバル U-13 (少年サッカー交流戦)	本学の広報活動と企業提携の一環として少年サッカー大会を企画運営、6チームが交流戦に参加しました。MSTの「メディカル・フィットネス協会(MFA)」有資格者が、舞洲運動広場においてトレーナーブースを出展し、急性外傷(捻挫・打撲等)の処理と慢性的な症状に対するストレッチングやテーピングを行いました。
6月17日 18日	Boscovilla Soccer Academy 選考会セレクション ブース出展	Boscovilla サッカーグラウンドにおいて、サッカーを行う中学生(8チーム)を対象に「Boscovilla Soccer Academy 選考会セレクション」のブースを出展し、選手の外傷(擦り傷、打撲等)の対応と、チーム別にMSTによるコンディショニング講座を行いました。
7月17日	2017 森ノ宮フェスティバル U-15 (少年サッカー交流戦)	本学の広報と企業提携の一環として少年サッカー大会を企画運営し、学生トレーナーの実習の場として交流戦をサポートしました。MSTのトレーナーが、参加した6チームを対象に「スポーツ障害」に対するコンディショニング講座を実施し、本学への入学希望者に「1日トレーナー体験」も行いました。
7月22日 23日	Boscovilla 高校サッカー 交流戦	Boscovilla サッカーグラウンドにおいて、関西、中国方面から参加した6~7チームを対象に、選手サポートのブースを出展しました。選手の外傷(擦り傷、打撲等)への対応と、MSTによるコンディショニング講座を行いました。
8月3日	「地域で取り組む認知症予防」 (住之江区老人クラブ連合会 日帰り 研修会)	本学看護学科教員が、住之江区老人福祉センターの依頼で「地域で取り組む認知症予防」をテーマに、認知症高齢者の現状についての説明や、脳活性ゲーム紹介とその体験を行いました。
9月3日	2017 森ノ宮フェスティバル U-13 (少年サッカー交流戦)	本学の広報活動と企業提携の一環として、少年サッカー大会を企画運営しました。全6チームを対象に大会形式の交流戦を行い、参加選手に対し、急性外傷の対応と慢性的な症状に対するストレッチングやテーピングを行いました。学生実習として、メディカルトレーナーを目指す学生(1年生)を対象にスポーツ障害の対処法について先輩のトレーナー指導を行いました。
9月5日	人権教育研修会 (大阪市小学校長会人権教育部 Hブ ロック)	主催: 大阪市小学校長会人権教育部Hブロック(西区・住之江区)、会場: 森ノ宮医療大学 本学看護学科教授と特任教授を講師として、人権教育をテーマとした研修会を行いました。
10月1日	大学コンソーシアム大阪 地域連携 学生フォーラム in 大阪 2017	主催: 大学コンソーシアム大阪 企業と会員大学の学生が地域と関わりながら取り組む研究活動やフィールドワーク、ボランティア活動等について発表し、交流するイベントに本学の学生が参加しました。スポーツを通じた連携についての本学学生の発表は、多くの参加者から高い評価を頂きました。
10月15日	JPF 日本プライベートフットボール 協会 西日本支部 2017年 秋季シリーズ戦 4回	近畿大学狭山グラウンドにて、本学MSTのトレーナーが他大学のトレーナーと連携し、選手サポート(テーピング、ストレッチ)、急性外傷(打撲、捻挫等)等のトレーナー活動を行いました。

10月22日	JPF 日本プライベートフットボール協会 西日本支部 2017年 秋季シリーズ戦 5回	近畿大学狭山グラウンドにて、本学MSTのトレーナーが他大学のトレーナーと連携し、選手サポート(テーピング、ストレッチ)、急性外傷(打撲、捻挫等)等のトレーナー活動を行いました。
10月22日	第3回 ファミリーフェスタ	共催:住之江区役所、咲洲まちづくりプロジェクトチーム 本学は南港南中学校体育館で「体力測定コーナー」を出展し、家族連れなどたくさんの方が握力、背筋力、血圧等の測定を行いました。
11月3日	咲洲子どもフェスタ 2017(11/3~11/5) 森ノ宮医療大学×SFIDA OSAKAジュニアフットサルCUP U-10、U-12	フェスタ主催:咲洲子どもフェスタ実行委員会 フットサル大会主催:SFIDA ATCビル屋上で開催されたジュニアフットサル大会(U-12、U-10)に協賛し、MSTに所属する学生たちが、テーピングやストレッチを行い、好評をいただくとともに、スポーツ障害についての多くの相談を受けました。
11月12日	2017 森ノ宮フェスティバル U-13 (少年サッカー交流戦)	本学の広報活動と企業提携の一環として、少年サッカー大会を企画運営しました。MST所属のトレーナーを目指す1年生12名が参加しました。選手サポートのトレーナーブースを出展し、急性外傷(捻挫・打撲等)の処理と、慢性的な症状に対するストレッチやテーピングを行うとともに、スポーツ障害に対する講座を実施しました。
12月9日	第3回 学生団体総選挙	主催:株式会社賢者屋 約600団体の中から、【活動理念、活動内容、今後のビジョン】の3つを審査基準として、9部門から各8団体、計78団体が選ばれました。本学は「キャリア・教育・医療部門ファイナリスト表彰」、「キャリア・教育・医療部門グランプリ表彰」と、高い評価をいただきました。
12月23日	森ノ宮医療学園Presents KANSAI FESTIVALバスケットボール 選手権大会	本学が協賛の一部を担い、チーム間の親睦、心身の育成とバスケットボール競技の向上と普及を目的とした大会です。近畿圏の高校のほか、岐阜県や徳島県の高校から計8校が参加し、熱戦が繰り広げられました。本学の女子バスケットボールチームは、ボランティアとして大会の運営や審判などで協力し、大会支援を行いました。
12月28日 29日	Boscovilla 冬季高校サッカー交流戦	Boscovilla サッカーグラウンドにおいて、関西、中国方面から参加した6~7チームを対象に、MSTが選手サポートのトレーナーブースを出展し、手の外傷(擦り傷、打撲等)への対応と、コンディショニング講座を行いました。
1月7日	ふれあい病院探検隊	主催:大阪急性期・総合医療センター 看護学科による手洗い体験や、作業療法学科による目の動きだけでパソコンを操作できるコミュニケーション機器などを体験するプログラム、臨床検査学科による内臓脂肪・骨密度を超音波を使ってチェックするプログラム、鍼灸学科によるはり・きゅう体験ができる「東洋医学でわかる健康チェック」を実施しました。
2月11日	第33回 住之江区民マラソン大会	主催:住之江区体育厚生協会 ほか、後援:住之江区 ほか 大会に協力する本学は、大阪府鍼灸師会の協力を得て、鍼灸学科の教員や学生が「はり・きゅう無料体験」ブースを出展しました。
2月20日	講習会「今日からできる認知症予防 ~脳と身体のトレーニング~」	主催:大阪市住之江区福祉協議会、同区老人福祉センター 本学作業療法学科教員が、市内在住の60歳以上の高齢者を対象に、認知症予防に関するこれまでのエビデンスを紹介し、認知症予防に効果的とされる二重課題のゲームや体操の実技を実施しました。
3月9日	南港南中学 テーピング講習	主催:大阪市立南港中学校 本学鍼灸学科の教員が、中学生に多いスポーツ障害、下肢を中心としたストレッチの重要性について講義し、足関節(捻挫)の障害に対するテーピング実技を行いました。

3. 大学間連携

連携数	連携先
2校	相愛大学、学校法人常翔学園、放送大学

4. 産官学連携

医療施設と密接な協力、連携、人材交流を行うことを目的に、相互連携協定を締結し、学生の実習の場、地域医療の活性化の領域を広げています。

また、近隣及び関係する行政機関とも協定を締結し、学生の教育現場の体験、教職員相互の交流を目指します。

	連携締結年	連携協定締結先	目指す取組の概要等
1	平成22年 4月 6日	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター	共同研究の実施、セミナー・研修会への相互受入、人材の相互派遣、本学学生の実習の受入、学生ボランティアの派遣 等
2	平成23年 7月 11日	医療法人協和会 千里中央病院	本学の教員の臨床研究の受入、本学学生の実習の受入 等
3	平成23年 12月 9日	医療法人 錦秀会	共同研究の実施、人材の相互派遣、本学教員の臨床研究の受入、本学学生の実習及び就職の受入 等
4	平成25年 5月 27日	公益社団法人 田附興風会 医学研究所 北野病院	共同研究の実施、本学教員の臨床研究の受入、人材の相互派遣、本学学生の実習及び就職の受入 等
5	平成26年 1月 9日	大阪市住之江区	住之江区の健康づくり事業への教員及び学生ボランティアの派遣、本学学生の実習及び就職の受入、市民公開講座の共催 等
6	平成26年 1月 15日	医療法人 協和会	共同研究の実施、本学教員の臨床研究の受入、人材の相互派遣、本学学生の実習及び就職の受入 等
7	平成26年 2月 19日	中国 浙江省人民医院	(学術交流に関する協定)共同研究の実施、研究者および学生の交流 等
8	平成26年 6月 3日	大阪府 高槻市教育委員会	大学と高槻市立学校教職員の相互交流、本学学生の教育現場体験及び地域活動支援の推進 等
9	平成26年 11月 19日	医療法人社団有隣会 東大阪病院	本学教員による臨床研究及び技術指導の受入、人材の相互派遣、本学学生の実習及び就職の受入 等
10	平成26年 11月 25日	吹田市教育委員会	大学と吹田市立学校の教職員相互の交流、本学学生の教育現場体験及び地域活動支援の推薦 等
11	平成27年 2月 19日	学校法人相愛学園 相愛大学	教育研究活動及び大学行事、学生の自治活動及びサークル活動、地域の医療・福祉・健康に関わる貢献等についての連携・協力
12	平成27年 3月 9日	社会医療法人景岳会 南大阪病院	本学教員による臨床研究の受入、人材の相互派遣、施設の相互利用、本学学生の実習及び就職の受入 等
13	平成27年 4月 15日	大阪市教育委員会	学校支援学生ボランティア事業
14	平成27年 7月 27日	守口市教育委員会	大学と守口市立学校の教職員相互の交流、本学学生の教育現場体験及び地域活動支援の推進 等
15	平成28年 1月 29日	社会福祉法人帝塚山福祉会	共同研究の実施、本学教員の臨床研究の受入、人材の相互派遣、施設の相互利用、本学学生の実習及び就職の受入 等

	連携締結年	連携協定締結先	目指す取組の概要等
16	平成28年 6月13日	大阪国際がんセンター (旧 大阪府立成人病センター)	共同研究の実施、人材の相互派遣、施設の相互利用、本学学生の実習の受入、大学院生への研究指導の受入等
17	平成28年 8月22日	学校法人 常翔学園	スタッフディベロップメントにおける大学間連携
18	平成29年 2月24日	社会医療法人純幸会 関西メディカル病院	共同研究の実施、本学教員による臨床研究の受入、人材の相互派遣、本学学生の実習の受入等
19	平成29年 10月5日	株式会社 かなえるリンク	本学教員による臨床研究の受入、人材の相互派遣、施設の相互利用、本学学生の実習及び就職の受入等
20	平成30年 1月18日	放送大学	単位互換に関する協定
21	平成30年 1月26日	公益財団法人日本生命済生会 日本生命病院	共同研究の実施、人材の相互派遣、施設の相互利用、本学学生の実習の受入、大学院生の研究指導の受入等
22	平成30年 4月19日	ミズノ株式会社	新商品開発・研究面での共同作業の推進、施設の相互利用、高等学校への活動支援、地域への社会貢献活動等

地域とつながる 森ノ宮医療大学

平成29年度の社会連携事業

想いのすべてを、医療の力に。



学長からのご挨拶

森ノ宮医療大学は、大阪市住之江区の咲洲地区に平成19年4月に誕生した医療系総合大学です。現在は、保健医療学部看護学科、理学療法学科、作業療法学科、臨床検査学科、臨床工学科、鍼灸学科の6学科と大学院（修士課程・博士後期課程）と助産学専攻科があり、医療や研究職、教育職に就くことを目指す約1,400名の学生たちが学んでいます。



本学では、これからも医療系総合大学として健康や医療に関わる教育研究活動と、社会に向けた情報発信に努めながら、近隣にお住まいの皆さまをはじめ、企業や自治体と連携してさまざまな地域貢献活動を進めていきたいと思っております。

平成30年6月
森ノ宮医療大学 学長 荻原 俊男

市民公開講座 予防・治療から社会復帰へのケア—最近の進歩—

第1回「心不全」

平成29年度第1回の市民公開講座は、6月18日（日）に「心不全」をテーマに開催されました。大阪急性期・総合医療センターから心臓内科主任部長の山田貴久先生をお招きし、近年進歩している心不全の診断と治療についてご講演いただきました。

また、看護学科の久木元由紀子教授、理学療法学科の堀竜次教授、臨床検査学科の脇英彦教授が、それぞれ「心臓病と看護」、「心臓リハビリテーション」、「心臓病と検査」というタイトルで講演を行いました。



もりもり元気体操の様子



第2回「子宮がん・卵巣がん」

第2回は9月17日（日）に「子宮がん・卵巣がん」をテーマに開催されました。基調講演では、「子宮がん・卵巣がん 診断と治療～最近の進歩～」について大阪急性期・総合医療センター産婦人科主任部長の竹村昌彦先生による講演が行われました。

その後、看護学科の橋本富子教授、理学療法学科の河村廣幸教授、臨床検査学科の小林彩香助教がそれぞれがんに関連する講演を行いました。



第3回「高齢者の耳鼻科疾患」

第3回は10月29日（日）に「高齢者の耳鼻科疾患」をテーマに開催されました。この日は台風接近中にも関わらず40名の方の来場がありました。まず、本学看護学科の伊津美孝子教授が講演を行い、その後大阪急性期・総合医療センター耳鼻咽喉・頭頸部外科の宇野敦彦主任部長に「高齢者の耳鼻科疾患～最近の進歩～」についてご講演いただきました。続いて、鍼灸学科の仲西宏元教授、作業療法学科の小林貴代教授による講演が行われました。



もりもりひろば

もりもりひろばとは？

本学近隣にお住まいの0歳から1歳半の赤ちゃんとそのご家族を対象に、育児に役立つ情報提供や健康教育、家族同士の交流促進などを目的に、大学内でほぼ毎月1回「もりもりひろば」を開催しています。看護学科の教員が中心となって運営しており、子育て支援にとどまらず、家族ヘルスプロモーション支援として、母親の身体的・精神的健康への啓発（がんばりすぎない子育て、笑いヨガ、乳がん自己検診法など）にも取り組んでいます。

回	開催日	テーマ
第27回	4月22日	がんばりすぎない子育て（保育士）
第28回	5月27日	笑いヨガでストレス解消
第29回	6月24日	子どもの周りには危険がいっぱい（学生）
第30回	7月22日	赤ちゃんとのスキンシップ♡
第31回	9月9日	食事のバランスを考えてみませんか
第32回	10月14日	家庭でできるファミリーケア
第33回	11月11日	おかあさんのヨーガ
第34回	12月2日	感染症の予防は手洗いから
第35回	2月10日	赤ちゃんの発達と関わり方
第36回	3月24日	乳がんは自分で見つけましょう



7年目を迎えて…

平成23年秋に始まった「もりもりひろば」も7年目に突入しました。教員だけでなく、本学学生もボランティアスタッフとして参加しており、将来医療職に就くことを目指す学生には、読み聞かせや手遊びなどのコミュニケーションを通じて親子のふれあいを支援することが、とてもよい経験になっています。

また、最近では学生数の増加とともにボランティアスタッフも増加しています。そのため、学生が主体となり、継続的に実施できるような企画も考えています。今後も、さらに地域の子育て支援の取り組みを発展させていきたいと思っています。

ほほえみクラブ

地域の高齢者のみなさんを対象に、平成27年度から看護学科教員による介護予防教室「ほほえみクラブ」を開催しています。平成28年度からは月1回（年間12回）開催しており、参加者はのべ300名以上にのぼっています。

活動は、認知症予防ゲーム「スリーA」を柱としていますが、2ヶ月に1度は「お役立ち情報の提供」と題して骨粗しょう症や認知症の予防、認知機能テストなどを取り上げています。

また、鍼灸学科、理学療法学科、作業療法学科の協力で「ツボのお話」、「足からのバランス改善」、「ニューロダンス」などと題した健康教育も実施しています。



回	開催日	テーマ
第21回	4月15日	スリーA認知症予防ゲーム
第22回	5月20日	スリーA認知症予防ゲーム
第23回	6月17日	スリーA認知症予防ゲーム・熱中症予防
第24回	7月15日	スリーA認知症予防ゲーム・足からのバランス改善
第25回	8月19日	スリーA認知症予防ゲーム
第26回	9月16日	スリーA認知症予防ゲーム・ツボ刺激で認知症予防
第27回	10月21日	スリーA認知症予防ゲーム・ニューロダンス
第28回	11月18日	スリーA認知症予防ゲーム
第29回	12月16日	スリーA認知症予防ゲーム・棒体操で心も体も柔らかく
第30回	1月20日	スリーA認知症予防ゲーム
第31回	2月17日	スリーA認知症予防ゲーム・脳トレーニング
第32回	3月17日	スリーA認知症予防ゲーム・咀嚼と健康

今日からできる認知症予防～脳と身体のトレーニング～

平成30年2月20日（火）に大阪市住之江区社会福祉協議会・大阪市住之江区老人福祉センター主催の認知症予防講習会に作業療法学科の松下太教授が講師として参加しました。

市内在住の60歳以上の高齢者を対象としたこの講習会では、認知症予防に関するこれまでのエビデンスを紹介し、予防に効果的とされるゲームや体操の実技を実施しました。実技においては笑いもあり、市民の方々に楽しんでいただくことができました。

第33回住之江区民マラソン大会

平成30年2月11日（日）に南港中央公園で住之江区体育厚生協会主催の第33回住之江区民マラソン大会が開催されました。本学は「はり・きゅう体験ブース」を設置し、はり、きゅうの体験、ストレッチを実施しました。大阪府鍼灸師会ご協力のもと、鍼灸学科の学生も施術サポートを行いました。将来スポーツトレーナーを目指す学生にとって、貴重な経験の場にもなりました。



「認知症サポーター」養成講座

平成30年3月7日（水）、9日（金）に大阪市立瓜破中学校で「認知症サポーター」養成講座を開催しました。本学看護学科の福島信也教授が講師として授業を行い、本学1年生も助手として参加しました。中学生の方々が認知症について考えるきっかけとなる参加型の講座になりました。

咲洲こどもフェスタ

平成29年11月3日（金）に森ノ宮医療大学・スフィード フットサル スタジアム オオサカ主催、「咲洲こどもフェスタ ジュニアフットサル大会」を開催しました。

大会はATCの屋上で行われ、来場者数は200名にのぼりました。本学は優勝・準優勝チームに楯を授与させていただきました。また、「メディカルトレーナーブース」を設置し、鍼灸学科の学生が試合中に起こった捻挫や擦り傷などの急性外傷対応を行いました。年々、ブースを訪れる方も増加しており、盛り上がりを感じられる大会となっています。



テーピング講習

平成30年3月9日（金）に大阪市立南港北中学校のクラブ学生が来校してテーピング講習を実施しました。鍼灸学科の鍋田智之教授、高崎雷太講師、メディカル・スポーツトレーナー研究会に在籍する鍼灸学科、理学療法学科の学生が参加し、中学生に多いスポーツ障害、ストレッチの重要性についての講義を行いました。その後、捻挫など足関節の障害に対するテーピング実技を行いました。体育や部活動など、今回の講習を活かせる場面があるため、先生方、生徒のみなさんにも熱心に参加していただくことができました。



森ノ宮カップ

「セレッソ大阪スポーツクラブ」の協力で、平成26年度から始まった少年サッカー大会「森ノ宮カップ」。この大会は、サッカーを通じて同世代の仲間と友情の輪を広げてもらい、健全なサッカー少年を育成しサッカー技術の向上やコンディショニングの重要性の啓蒙に寄与することなどを目的としています。

平成29年度は7月にU-15、2月にU-12大会がいずれも南港の「舞洲スポーツアイランド」で行われました。U-12卒業記念大会の表彰式では、大阪咲州ロータリークラブ会長の小林和由様にもプレゼンターとしてご参加いただきました。



平成29年度の連携協定



放送大学との締結式



日生病院（現：日本生命病院）との締結式



Curtin大学での海外短期研修会修了式

平成30年1月18日（木）に、森ノ宮医療大学は放送大学と、単位互換に関する協定を締結いたしました。

双方の授業科目を履修することで、単位を修得できる協定内容となっており、今後学生や聴講生の受入れを行なっていきます。

平成30年1月26日（金）に、森ノ宮医療大学は日生病院（現：日本生命病院）と、相互連携に関する協定を締結いたしました。

相互の密接な協力・連携・人材交流により高度医療教育を共有し、保健看護・健康増進・福祉などにかかわる地域の課題に積極的に取り組み、活力ある社会形成発展に寄与していきます。

平成30年3月26日（月）に、森ノ宮医療大学は西オーストラリアのパース市にあるCurtin（カーティン）大学と、相互連携に関する協定を締結いたしました。

学生交流をはじめ、教職員間の学術交流、共同研究などを通じて、チーム医療に求められる豊かな感性と高い倫理観を備えた専門職医療人の育成をいたします。

平成30年度 市民公開講座のご案内

回	開催日	テーマ	時間	実施状況
第1回	4月15日（日）	命を守る 臨床工学	10:30～12:00	終了
第2回	6月17日（日）	がん診療の 最前線	10:30～12:00	
第3回	10月28日（日）	パーキンソン病	13:30～15:00	

※開催場所はいずれも森ノ宮医療大学 当日は開催30分前より受付開始【入場無料・事前申込不要】

想いのすべてを、医療の力に。



保健医療学部

- 看護学科 ■理学療法学科 ■作業療法学科
- 臨床検査学科 ■臨床工学科 ■鍼灸学科

大学院 保健医療学研究科

- 保健医療学専攻 修士課程
- 医療科学専攻 博士後期課程

専攻科 助産学専攻科（1年課程）

※2020年4月診療放射線学科（仮称）を開設予定（構想中）

